

藤井教授略歴

出版者	法政大学史学会
雑誌名	法政史学
巻	6
発行年	1953-12
URL	http://hdl.handle.net/10114/9892

藤井教授略歴

教授は明治十六年三月福岡藩士一寛の末子長男として福岡市荒戸町に生る。幼時糟屋郡小野村谷山に移り帰農す。後県立中学修猷館・五高を経明治四十二年六月東京帝国大学文科大学史学科国史専攻科を卒業、同大学院にて徳川季世史を専攻し、波沢編纂所にて徳川慶喜伝の編纂に従事し、転じて文部省維新史料編纂会事務局にて維新史料の編纂に従ふこと三十余年、累進して勅任官に陞り従三位に叙、修史の功を以て勳四等旭日章を授けらる。その間京都帝国大学・九州帝国大学・東北帝国大学、実践女子専門学校・内務省警察講習所の各講師を勤む。又在野の事業としては明治三十九年以来日本歴史地理学会幹事たりしが現に会長としてその任に在り、又明治文化研究会、国史会幹部として活動し、満洲国憲法起草、衆議院憲政史編纂、黒田家史編纂に与る。昭和五・六年欧米に留学し、広く欧米官私の外交史料の蒐集に努む。著述としては学生時代に太宰管内志を校訂出版し、幕末維新史、日本憲法制定史に関する大小の著述多し、又男爵出塚麿伝、綜合日本史大系（明治時代）の編述に与り、古代史・維新史・太宰府史・福岡藩史等に関する論文多し。目下開国百年記念文化事業会理事・同編纂委員、法政大学教授・実践女子大学教授なり。